

整備進む谷浜都市公園 土地開発公社から市へ管理が移管

平成8年度から土地開発公社が進めていた谷浜地区の都市公園整備が一段落し、今後は上越市に移管されることになりました。5日の総務常任委員会で土地開発公社からこれまでの経過が報告され、9日の建設企業常任委員会で都市計画課から今後の整備方針などが報告されました。また現地視察も行われました。

この谷浜地区都市公園は、直江津港のLNG火力発電所建設のための埋め立て土砂を採取していたところです。16年度で土砂採取が終わり、国道8号を跨いでいたベルトコンベアや海に突き出た栈橋も撤去されました。土取り場が整地整備され、「森づくりプロジェクト」による緑化工事が進められていました。今回現地を視察してみて、昨年議員団で視察した時よりもいっそう整備が進み(下の写真参照)、「公園らしくなった」ことに驚きました。思わず担当してきた職員に、「こ苦労さん」と言っていました。

この公園整備は当初(平成9年度)、69億円の資金を投入して「上越市民・広域の人々のための楽しい時間づくり」というコンセプト、いわゆる「呼び込み型」の観光施設として整備が計画されました。それが15年度に大幅な見直しが行われ、「地域性(歴史・文化)を活かしただれもが交

流可能な場の創出」という地域密着型の公園計画に変わり、整備費も31億円へと半減して整備が進められてきました。「レクリエーション需要を充足する公園から、休息、観賞、散策、運動等に利用する公園へ」と整備方針が変わったのです。

杉林や雑木林など何万年もかけてつくられてきた肥沃な表土に覆われた百mほどあった山が、50m前後まで削られて、貧栄養の土地がむき出しになりました。一朝一夕に緑化工事が進むということにはなりません。それこそ数百年をかけて「自然に戻す」大事業です。それがLNG発電所の代償でしょう。

平成20年度に西側半分が利用可能になりました。西の端にある「海の見える丘」からは、東に米山が、南には妙高山、火打山、焼山が遠望できる絶好の展望台です。



谷浜都市公園の整備状況

日本共産党上越市議会議員杉本敏宏の

市政レポート

2007年2月18日 135
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832